

## 地域交流の促進拠点目指して\*

松田 志穂\*

この春、山梨大学徒歩5分の距離にある Silk Garden 内に武田の杜地域交流拠点『繭時』をオープンした。『繭時』は、「国際交流、世代間交流を含めた地域交流をコンセプトとし、みんなで創る手作り地域館」をテーマに掲げている。地域住民の皆様と地域の歴史や風土を探求し、ひとつひとつのアイデアをカタチにしていくことを目標としている。

日本福祉工学会の学術講演会で三回にわたり発表し、提案してきた社会教育支援 SNS-TwosTep サイト (<http://www.twostep-y.net/>) の情報ネットワークを中心とし、さらなる人的ネットワークへつなげていくための拠点として『繭時』を立案した。WEB 上で行ってきたひとつづくり、まちづくりをリアルな拠点で展開し、より地域に密着した活動促進の役割を担うための井戸端会談的に集まれる古くて新しい場所を目指している。



図1. 繭時 入り口

日々時間に追われる現代社会の中、集う→出会う（海外の方、年齢差のある方、学生および多岐に渡る職業の方、自分とは違う生活を送る方との出会い）→居場所づくり、生き甲斐づくりへとつなげる事ができるのではないかと想像を膨らませている。

また、生活環境の違う人同士との出会いは、社会の課題をあきらかにする効果もあると期待している。利害関係を越えてお互いの悩みを共有することにより、新しい社会システムの創造につながることを願っている。

\* 原稿受付 平成21年4月13日。

\* 1 正会員, TwosTep (〒400-0015 山梨県甲府市大手1丁目2-2 繭時)。

当施設では、「できるだけ手作り」「文化を引き継ぐ」「県内資源を活かす」をキーワードとし、一つ一つのモノにこだわることを理念としている。例えば、当地の産業を支えてきた蚕種の歴史や文化を継承する古い調度品を手作りによって復活させ利用している。また、扱う食物はできる限り県内産の特徴あるものを提供できるように考慮し、例えばお茶に使用する水は山梨のミネラルウォーターを使用している。また、さらなる取り組みとして、地域に貢献する形での野菜/果物の仕入れルート開拓を最終構想とする第一歩目の開発も始めている。



図2. 繭時 室内

現在の事業は、平日営業と特別営業の2通りがある。水曜日から金曜までの平日営業では10時から15時までの間、活動グループの作業場やミーティングスペースの提供を行うほか、予約制のランチや貸しスペースを付加事業としている。土曜の特別営業日は、10時から19時まで1杯200円のおいしい水で入れたドリンクや軽食等がいつでも利用でき、学生ほか多くの地域の方が時間を気にせずにコミュニケーションの場を利用してもらえる環境を整えている。その他、「地域の風土」「蚕種の歴史」「県内フルーツを使ったジャムづくり」等のワークショップを随時開催予定である。

行政への不信感、経済への不安感がつる今、地域の力をもう一度信じ合うことにより、ひとりひとりの心のゆとりが生まれることを切に願っている。大人たちが協力し合って生まれ変わるであろう地域は、そこで育つ子どもにとってかけがえのない財産となり、社会現象となっている重大な犯罪の低年齢化や自殺やいじめの増加等のはじめになるに違いない。